

グローバル ピープルサーベイ

海外従業員意識調査サービス

—世界の従業員は今、何を考え、
グローバルマネジメントの課題はどこにあるか

Solution Overview: Global People Survey

急速にグローバル展開を推し進める日本企業にとって「海外における組織の適正な運営」「グローバル人材の育成と現地社員の活用」の重要性は日に日に高まっています。また結果としてそれら巧拙が経営目標の達成に大きな影響を与えています。



なぜグローバルな「従業員意識調査」が必要ですか？

PwCでは世界経済の先行の不透明感が増す中、従来の管理会計での経営モニタリングに加えて自社の海外現地社員の視点で現在のビジネスのありようを知ることが、今後のグローバルビジネスの展望やリスク管理を検討する上で重要であると考えています。実際に多くの欧米系多国籍企業はこのような観点から単に従業員の満足度を観測するだけではなく、各国の拠点において持続的・安定的な経営が実施されているかどうかをモニタリングするツールとして「従業員意識調査」を幅広く活用しています。

これまで日本企業では欧米系多国籍企業のようなグローバル規模での「従業員意識調査」はほとんど行われてきませんでした。その主な理由として

- ①言語対応を含めた調査コストに見合う調査結果が得られない
- ②調査期間が長期化し、グローバルで集計できない
- ③調査結果と現在の経営管理との整合がとれず調査結果が経営に活かせないなどが挙げられます。

PwCでは上記の問題に対して、「低価格」「短期間」「グローバル集計」「経営管理との連動（BSCフレーム）」が可能な従業員意識調査サービスとしてグローバルピープルサーベイをご案内します。

グローバルピープルサーベイのフレームワーク

グローバルピープルサーベイは欧米系多国籍企業が実施している全世界従業員調査を可能にするWebベースの調査です。調査は58の質問項目から構成され、通常の満足度調査に加えてバランススコアカード（BSC）のフレームワークで、従業員の所属する拠点の経営課題を従業員の視点から可視化します。



グローバルピープルサーバイの主な特徴

1. 従来型の従業員満足度調査に加えて、バランススコアカードによる経営課題の可視化を提供

組織の状況を多面的に調査・分析するため、従来の従業員調査で得られる満足度、流動性リスク評価に加えて、海外拠点の組織上の経営課題の発見を可能にします。

- ・バランススコアカードの4つの視点について、従業員全般の評価・認識傾向や、「経営者」「管理職」「スタッフ」間、あるいは「駐在員/現地従業員」間での認識差を分析することにより、拠点の経営課題を抽出
- ・経営課題と従業員の「満足度」や「定着性向」との関連性を分析することにより、優先度の高い経営課題の特定を行い、具体的施策立案に寄与

2. 拠点人材マネジメントのリスク回避のみならずグローバルベストプラクティスの構想に寄与

従業員の人事管理への不満によるネガティブインパクトのみならず、組織のポジティブインパクトを分析することにより、グローバルマネジメントのベストプラクティスの方向性を抽出します。

- ・従来型の単なる満足度のみならず、「貢献意欲」や「定着性向」を調査・分析。リスク回避のための消極施策に留まらない示唆を提供
- ・従業員が重要視している職場の価値観を調査・分析。多様性による施策への示唆を提供

3. 企業グループ全体を通じた地域・事業ごとの比較分析から拠点単体の分析まで幅広く対応

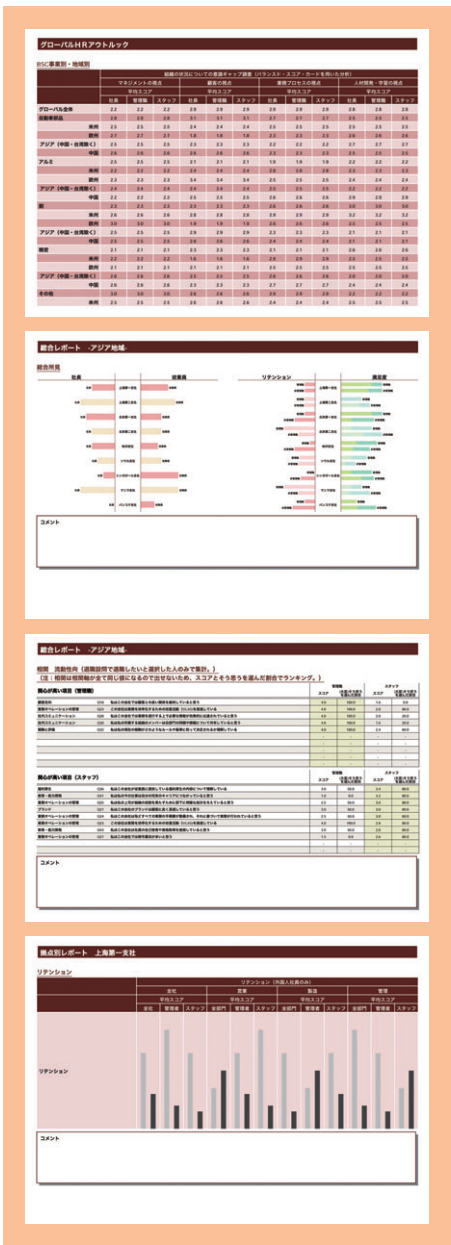
各国に展開する現地拠点を同一の視点で調査することで、各現地法人の経営のベンチマーキングを提供します。また、参加企業には一定同時期間中に参加した他企業の全体平均値など、外部ベンチマーキングを提供します。

- ・一調査ごとに「グローバルアウトルック」「地域（事業）別サマリー」「個社別レポート」を提供
- ・「グローバル」「地域（事業）」「個社」のくくりで階層化して、共通の課題を分析して提供
- ・参加企業の全体平均などを外部ベンチマークデータとして提供

4. Web調査により低コスト・短期間で多言語での複数拠点同時調査が可能

- ・調査実施・報告期間：標準約2カ月（調査内容のカスタマイズがない場合）
- ・費用：150万円より（※費用は参加拠点数、参加者数、使用言語数により個別にお見積りします）

<サンプルレポートイメージ>



調査の基本的な流れ

1	調査項目とスケジュールの確認	<PwCの役割> 調査オペレーション・スケジュール・回答者属性・インタビュー*日程の確認
2	ガイダンスにしたがって質問の回答を 専用ウェブサイト経由で送付	調査ガイダンスの提供・調査進捗のモニタリング
3	回答を回収して集計	回答の精査と集計の実施
4	インタビュー*の実施	インタビュー*の実施と内容のまとめ
5	集計結果の分析と調査報告書の作成	集計結果の分析・課題の抽出 対策の検討と報告書の作成
6	最終報告	調査報告の実施と課題解決のためのディスカッションの実施

*インタビュー形式による裏付け調査などはオプションとなります

プライスウォーターハウスクーパース株式会社のご紹介

プライスウォーターハウスクーパース株式会社は、ディールアドバイザリーとコンサルティングを提供する国内最大規模のコンサルティングファームです。M&Aや事業再生・再編の専門家であるディールアドバイザリー部門と経営戦略の策定から実行まで総合的に取り組むコンサルティング部門が連携し、クライアントにとって最適なソリューションを提供しています。世界158カ国約169,000人のスタッフを有するPwC（プライスウォーターハウスクーパース）のネットワークを活かし、約1,300名のプロフェッショナルが企業の経営課題の解決を支援しています。

プライスウォーターハウスクーパース株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル
TEL: 03-3546-8480 FAX: 03-3546-8481

お問い合わせ

consultants.inquiry_mailbox@jp.pwc.com